

旧八幡図書館解体工事に伴う部材の取扱いについて

1 解体工事に伴い発生した部材の状況

外壁レンガについては、記念碑製作検討のため約1,000枚を保存している。

その他、解体工事を丁寧に行った結果、丸窓・手摺等が残っているが、新病院での活用は困難である。

2 県立小倉工業高校・同校同窓会への部材の譲渡

- (1) 旧八幡図書館を設計した村野藤吾氏の出身校である小倉工業高校・同校同窓会から外壁レンガ及び丸窓・手摺について譲渡依頼があった。

【譲渡依頼のあった部材の同校での用途】

村野藤吾氏の出身校であり、ものづくりの学校として学生への教育効果を狙った活用を考えており、3年後の創立120周年に向けた取組みも検討中。

- ・レンガ約40枚：モニュメント製作
- ・丸窓、手摺：校内展示等

- (2) 解体工事に伴い発生した部材は、原則、廃棄物として処分するが、小倉工業高校・同校同窓会の団体の継続性・公共性、用途の明確性・公益性（教育的効果）などを考慮し、丸窓・手摺については、レンガ40枚とともに譲渡することとする。

(参考) 解体工事の工期

[平成28年4月21日から8月19日まで]